

第2回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月15日（金） 3：00～

場所 県庁新館10階 災害対策本部室

1 災害対策本部長の発言

(蒲島知事)

今回の突然の地震で、現段階でお2の方が亡くなられた。熊本県知事として、県民を代表して心からお悔やみを申し上げる。

県としては、引き続き、人命の救助を最優先に、被害状況の収集に全力を注力して参る。

なお、現段階で352箇所2万3,000人の方が避難されている。

今日の朝6：00を目途に必要な水と食糧が届くよう、民間と連携し、全力で取り組んでいただきたい。

2 関係機関の活動状況

消防応援隊、自衛隊、日赤救護班、海保の巡視艇などいろんなところから応援に駆け付けていただいている状況。

3 県等の対応状況

(健康福祉部)

県内病院の日赤、市民病院、国立、熊大、済生会の主に5つの病院で390人受け入れている。

県内DMAT 5チームが益城町に入っている。

県外のDMATとして、大分県から6チームが日赤と益城町、鹿児島県の1チームが益城町、佐賀の1チームも益城町に入っている。

健康福祉部から救援物資として、益城町に2リットルのペットボトルを1,100本、毛布500枚、簡易トイレ300等を搬送予定。

熊本市からの要請で毛布5,000枚を搬送予定。御船町から毛布1,500枚の要請があっている。

(企画振興部)

九州新幹線、回送中の新幹線6両が脱線した件で明日、国土交通省の調査が入るため1日運休の見込み。

在来線の状況、3区間、松橋～小川、瀬田～立野、田原坂～木の葉で運休停止した列車があったが、乗客の輸送を完了した。在来線については、午前中に確認するので、その時点で運行の可否を判断する。

空の状況、熊本空港管理事務所に確認したところ、施設、滑走路を確認したが被害はない。航空機の発着については、明朝、滑走路を再度確認したうえで判断する。ANAは、朝の2便、熊本発羽田行、熊本発伊丹行がそれぞれ欠航。

バスの状況、路線バスの運行は事故なく終了。高速バスについては、全ての確認はできていないが、被害の報告はない。宮崎発福岡行の高速バスフェニックス号が高速を降りて、西部車庫に移動し、乗客9名が西部車庫の仮眠室で待機中。

(土木部)

道路関係で29カ所の全面通行止めが判明している。可能な限り早期に片側通行できるように明朝から対応したい。河川、砂防施設についても明朝から調査をしたい。

(九州地方整備局)

ヘリの運航状況について、明日、夜明けとともに福岡市と高知県の消防ヘリが偵察ということでこちらに向かっていたことになっている。県警ヘリ、自衛隊のヘリも合わせて5機飛ぶことで調整を進めている。

(海上保安部)

今のところ沿岸部についての被害は確認されていない。

航空機1機により熊本県沿岸部の被害状況を調査予定。

横浜の特殊救難隊が、鹿児島航空基地の方に到着し出動準備を完了。

(総務部)

益城町をサポートするため、職員の派遣を始めている。上益城振興局から既に2名を派遣している。明日朝にでも各部にも依頼させていただきたい。

(以 上)